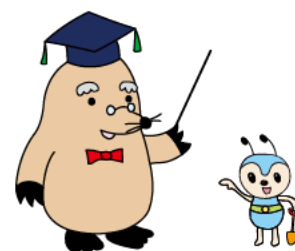


小牧南遺跡 第3次 (No.5)

発掘された遺構・遺物の紹介

小牧南遺跡の第3次調査は、全調査区の約1/3が終了しました。
たくさんの遺物が出土しているので紹介します。



竪穴住居の床面から出土した土器。
縄文時代中期(約 5,000 年～4,000 年前)のもの。



直径 1 m 程の穴から大きな石が2つ重なって出土。
縄文時代中期のもの。



直径 1.6m 程の穴に捨てられていたたくさんの土器。
弥生時代末～古墳時代初頭(約 1,700 年前)のもの。



左とは別の穴から出土した土器。
弥生時代末～古墳時代初頭のもの。



竪穴住居の跡から重なるように出土した土器。弥生時代末～古墳時代初頭のもの。

調査の様子

発掘調査は遺構・遺物の掘削が主な業務ですが、それ以外にも様々な調査をしています。今回はその一部を紹介します。



おなじみ、発掘の作業風景。様々な道具で作業します。



掘削・調査が終了した所にはシートをかぶせて形状を保存しておきます。現地説明会で公開します。



土器の出土状況を、細かく記録に残します。



遺構の土層を判断し、記録に残します。



「レベル」という道具で、遺構の標高を測っています。



遺構の状況を写真に記録し、詳しく調査します。



モグ博士

どの層から何が出土したのかを細かく記録し、過去の調査などを参考にして、当時の人々の生活の様子などを検証・推測するのじゃ。

それらの記録をこれからの調査に活用し、後世に伝えていくことが、発掘調査の大きな目的なのね。



アーリーちゃん

【問い合わせ先】

三重県埋蔵文化財センター 調査研究3課 四日市整理所
〒512-8064 三重県四日市市伊坂町126-1
電話番号: 059-363-3195/ファックス: 059-363-3196
E-mail: maibun@pref.mie.jp